

事業名称			
事業名	飯山第二次統合校建設事業		
整理番号	5		
事業の種類	学校建設		
市町村名	飯山市		
箇所名(代表地番)	飯山市大字飯山2610		
事業年度	平成22年度～25(27)年度		
事業概要			
目的	飯山第二次統合(飯山北高校、飯山高校)に伴う校舎・施設等の整備		
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	管理普通教室棟(RC4F3,844㎡)、図書館・探究科棟(RC3F2,589㎡)、特別教室棟(RC3F3,961㎡)、渡り廊下(RC3F127㎡、RC2F93㎡、RC2F239㎡)、スポーツ科学科棟(S+SRC3F4,588㎡)、部室棟(RC2F498㎡)、車庫・駐輪場(S1F84㎡)、既存解体(RC3Fほか約8,200㎡)		
関連する事業計画	特になし		
その他特記事項	特になし		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	なし		
土地利用規制の状況	河川法の河川区域または河川保全区域 都市計画法の用途地域(第一種中高層住居専用地域)		
その他	なし		
環境要素			
	環境配慮の方針		
大気環境	排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。 防音壁、防音シート、緩衝緑地帯等の遮音設備・吸音設備を設置し、騒音を低減する。		
水環境	工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 透水性舗装の導入や舗装面の削減、浸透側溝・浸透枘・芝舗装の導入等、雨水の地下浸透により水循環を保全する。 水田や地下水・湧水を保全する。 地下水を使用しない又は使用量を削減する。		
地形・地質	工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。		
野生動植物	河川・水路に横断構造物を設置する場合は、水棲生物の自由な移動を確保する。		
景観	工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 周辺の景観との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。		
廃棄物・建設残土	建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。 信州リサイクル認定製品の利用を推進する。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。 建築物の断熱化に努める。		
日照障害・電波障害	電波障害が予測される場合は、電波吸収材や反射材の使用による反射障害や遮へい障害の防止を検討する。		
番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	水環境	・地下水の保全に努めること	地下水は融雪用のみに利用し保全に努めます。
2	景観	・環境配慮の方針として「良好な景観の育成」を検討すること。	既存樹木をできるだけ残し緑化に努めると共に、外観は周辺の景観との調和に配慮し、良好な景観形成に努めます。
3	省資源・省エネルギー・温室効果ガス	・新エネルギーの導入、省エネルギー対策、エネルギーの有効利用を検討すること。	LED照明の設置や、節水型設備機器の使用など、省エネルギー対策、エネルギーの有効利用に努めます。